

広 報

みなみふらの

10

2021. SEPTEMBER No.787

- P 2~4 令和2年度決算
- P 5~7 南富良野町人事行政の運営等の状況公表
- P 8~9 1日防災学校
- P 10 令和3年 農作物作況調査
令和3年度第2回自治会代表者会議
- P 11 カメラレポート
北海道市町村選挙管理委員会連合会表彰
- P 12 教育委員会通信
- P 13 南富高新聞、学校だより
- P 14 ほのお
- P 15 子育て支援センター「ぶっこ」だより
保育所の元気な子どもたち
- P 16 寄附・寄贈

南富良野高等学校「1日防災学校」
の炊き出し (8月31日)

令和2年度

決算

まちの財政は、一般会計のほか5つの特別会計を設けて運営しています。このほど令和2年度の各会計の決算とこれに基づく健全化判断比率などがまとまりましたので、その内容についてお知らせします。

すべての会計決算は、監査委員の意見を付して去る9月13日開会の第3回町議会定例会に提出し、総務常任委員会に付託されましたので、12月の第4回町議会定例会において認定の可否が審議されます。

決算は、まちづくりを進めていくうえで予算がどのように使われたのか明らかにしたものです。その内容を詳しく見てみましょう。

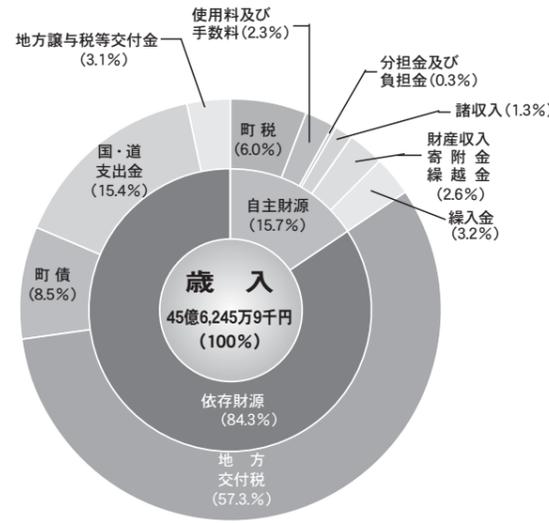
一般会計支出総額 43億6,913万7千円

5特別会計支出総額 11億5,027万5千円

◆一般会計歳入決算額

区分	決算額	構成比	前年度比較増減
町税	2億7,502万2千円	6.0%	△ 978万9千円
地方譲与税等交付金	1億4,176万5千円	3.1%	550万4千円
地方交付税	26億1,493万0千円	57.3%	5,564万8千円
分担金及び負担金	1,308万3千円	0.3%	△ 585万1千円
使用料及び手数料	1億675万1千円	2.3%	175万7千円
国・道支出金	7億241万9千円	15.4%	3億7,823万2千円
財産収入	4,271万4千円	0.9%	△ 1,198万4千円
寄附金	4,010万8千円	0.9%	2,713万0千円
繰入金	1億4,592万2千円	3.2%	8,196万3千円
繰越金	3,583万2千円	0.8%	△ 276万1千円
諸収入	5,835万8千円	1.3%	1,747万3千円
町債	3億8,555万5千円	8.5%	8,788万0千円
歳入合計	45億6,245万9千円	100.0%	6億2,520万2千円

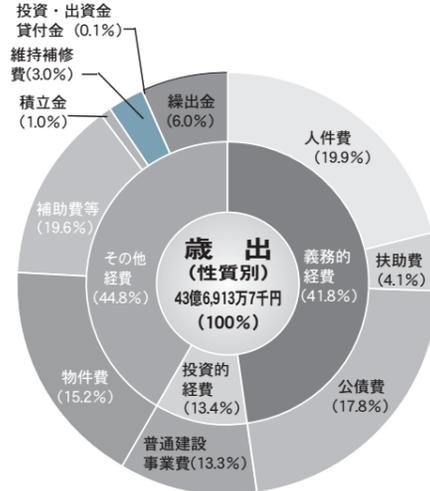
◆歳入構成図



◆一般会計歳出決算額

区分	決算額	構成比	前年度比較増減
人件費	8億7,019万6千円	19.9%	5,381万3千円
物件費	6億6,302万0千円	15.2%	△ 704万7千円
扶助費	1億7,954万4千円	4.1%	225万6千円
補助費等	8億5,582万9千円	19.6%	3億2,260万6千円
維持補修費	1億2,978万7千円	3.0%	2,786万0千円
普通建設事業費	5億8,391万7千円	13.3%	1億6,540万1千円
災害復旧事業費	0千円	0.0%	△ 150万0千円
公債費	7億7,807万3千円	17.8%	△ 7,173万7千円
積立金	4,306万1千円	1.0%	389万7千円
繰出金	2億6,287万0千円	6.0%	1,244万3千円
投資・出資金・貸付金	284万0千円	0.1%	△ 28万0千円
歳出合計	43億6,913万7千円	100.0%	5億771万2千円

◆歳出構成図



◆収支

区分	令和2年度	令和元年度	増減
差引収支	1億9,332万2千円	7,583万2千円	1億1,749万0千円

用語解説

- 人件費：職員給与や議員・各種委員会委員報酬などの経費
- 物件費：施設管理や物品購入、旅費などの経費
- 扶助費：老人医療助成、児童手当などの経費
- 補助費等：富良野広域連合などへの負担金および各種団体への補助金経費
- 維持補修費：道路の維持および除雪経費、公共施設の補修経費
- 普通建設事業費：公営住宅、町道整備などの公共事業経費
- 災害復旧事業費：災害復旧に係る経費
- 公債費：借入金の返済金
- 積立金：各種基金への積立金
- 繰出金：簡易水道、下水道会計など特別会計への繰出金
- 貸付金：奨学金や水洗化改造資金の貸付金
- 義務的経費：人件費などその支出が義務付けられている経費
- 投資的経費：道路、住宅などの公共事業経費
- その他経費：義務的経費、投資的経費以外の経費

町民一人あたりの収入額 193万6千円

令和2年度の一般会計の決算額は、収入総額45億6,245万9千円で前年度に比べて6億2,520万2千円増加(15.9%)しました。これは、新型コロナウイルス感染症関連の対策に係る国・道支出金が3億7,823万2千円増加したことや、東幾寅線整備に伴う改良工事などの財源とする町債(借入額)が8,788万円増加したことが主な要因です。

また、歳入予算の約6割を占める「普通交付税」と、特別の財政需要がある場合に交付される「特別交付税」については、5,564万8千円増となりました。

町税などの自主財源は15.7%となっており、まちの財政運営は、国に大きく依存していると言えます。

町民一人あたりの費用額 185万4千円

支出総額は、43億6,913万7千円で前年度と比べて5億771万2千円増加(13.1%)しています。これは、新型コロナウイルス感染症

町民一人あたりの借金残高 286万5千円

令和2年度末の借入金の残高は、一般会計で54億835万9千円、特別会計で13億4,557万円、総額は67億5,392万9千円となっており、前年度末より3億8,186万9千円(町民1人あたり10万3千円)減少しています。

町民一人あたりの預金残高 66万9千円

各会計の歳入不足を補うために積み立てている基金の残高は、令和2年度末で15億7,691万3千円となっており、前年度末より6,286万1千円(町民1人あたり1万3千円)減少しています。

の対策に係る事業のほか、東幾寅線整備に伴う改良工事や道の駅再編整備に係る事業などにより、補助費等が3億2,260万6千円増加、普通建設事業費が1億6,540万1千円増加しています。

なお、財政状況のゆとりの目安となる経常収支比率は89.0%と、前年度と比べて5.2%減少しておりますが、依然として財政は硬直化しています。

各収入額と支出額は3頁のとおりです。

◆町税の内訳

項目	収入額	構成比
町民税	1億1,372万1千円	41.4%
固定資産税	1億3,789万6千円	50.1%
軽自動車税	687万9千円	2.5%
町たばこ税	1,622万5千円	5.9%
鉱産税	30万1千円	0.1%
合計	2億7,502万2千円	100.0%

町民一人あたりが納めた町税 11万7千円

町民皆さんに納めていただいた町税の総額は、前年度より978万9千円減の2億7,502万2千円となり、収入総額の6.0%の割合となっています。なお、町税の内訳は次のとおりです。

南富良野町人事行政の運営等の状況を公表します

条例に基づき、令和2年度の人事行政運営の概要の状況について公表します。

地方公務員の給与は、国家公務員などの給与に準じて定められており、本町職員の給与も、国家公務員の給与に準じて、条例などで定めています。

人事行政とは、職員の任免、給与、勤務条件など町職員に適用される基準などの全般をいいます。

なお、詳しい給与・定員管理等については、町ホームページで見ることができます。

①職員の任免及び職員数に関する状況

(1)新規採用状況

区分	人数
2年度	2
元年度	5
増減	△3

(2)事由別退職状況

区分	人数	区分	定年退職	勸奨退職	普通退職	分限免職	死亡退職	合計
			2年度	元年度	増減			
2年度	2	2年度	4	0	5	0	0	9
元年度	5	元年度	3	0	4	0	1	8
増減	△3	増減	1	0	1	0	△1	1

(3)部門別職員数の状況（各年度4月1日現在）

区分	職員数		対前年度増減数
	2年度	元年度	
一般行政部門	60	66	△6
特別行政部門(教育)	24	24	0
公営企業等会計部門	8	8	0
合計	92	98	△6
条例上の定数	128	128	

②職員の給与の状況

(1)人件費の状況（各年度普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A
2年度	2,357人	43億6,913万7千円	7,278万6千円	7億2,874万5千円	16.7%
元年度	2,404人	38億6,142万5千円	7,573万1千円	8億1,409万9千円	21.1%

※住民基本台帳人口は各年度末現在のものです。

(2)職員給与費の状況（各年度普通会計予算）

区分	職員数 A	給与費				1人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末勤勉手当	計 B	
2年度	76人	2億6,907万4千円	5,918万5千円	1億8,537万6千円	4億3,679万5千円	574万7千円
元年度	79人	2億8,129万2千円	5,848万8千円	1億1,373万5千円	4億5,351万5千円	574万1千円

※1. 職員手当には退職手当を含みません。2. 給与費は当初予算に計上された一般職に係る額です。

(3)職員の平均年齢及び平均給与月額状況

区分	平均年齢	平均給与月額	
		平均給料月額	平均給与月額
2年度	41.0歳	305,501円	341,215円
元年度	42.2歳	314,225円	353,336円

※平均給与月額とは、給料月額と諸手当（寒冷地手当、期末勤勉手当及び退職手当を除く）の額とを合計したものです。

(4)職員の初任給の状況（令和2年4月1日現在）

区分	南富良野町	北海道	国	
				南富良野町
一般行政職	大学卒	182,200円	182,200円	182,200円
	高校卒	150,600円	150,600円	150,600円
技能労務職	高校卒	146,100円	146,100円	
高等学校教育職	大学卒	212,160円	212,160円	
看護・保健職	大学卒	182,200円		

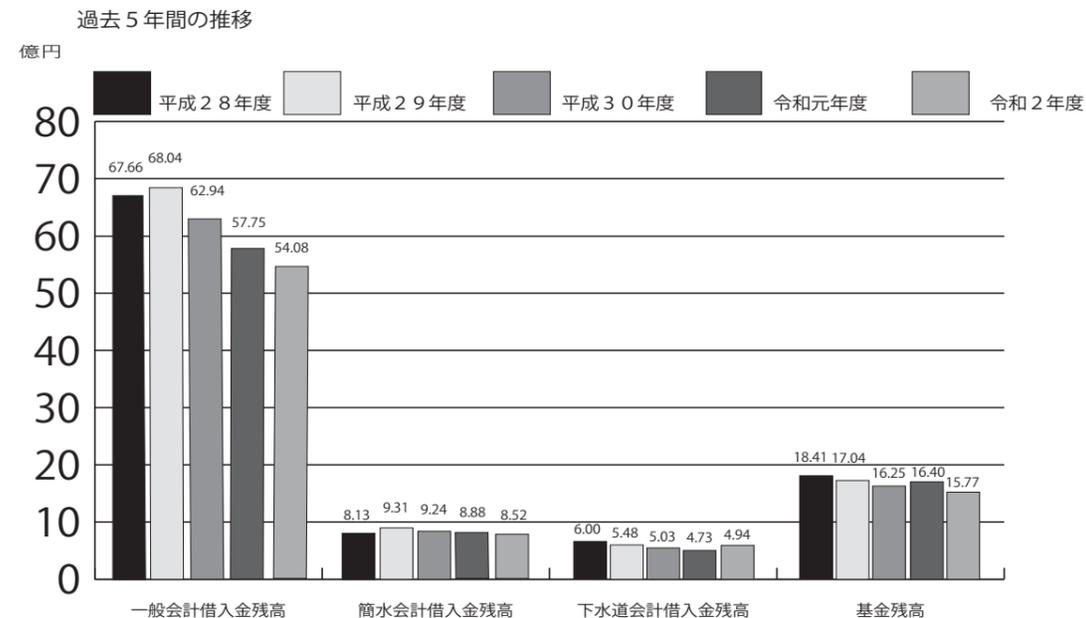
(5)職員の経験年数別平均給料月額の状況（令和2年4月1日現在）

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職 高校卒	207,800円	247,900円	302,800円

(6)一般行政職の級別職員数の状況(令和2年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	定型的な業務を行う職務 相当高度の知識又は経験が必要とする業務を行う職務	13人	19.7%
2級	特に高度の知識又は経験が必要とする業務を行う職務	3人	4.5%
3級	係長の職務、主査の職務、主任の職務	12人	18.2%
4級	課長補佐の職務、主幹の職務、副参事の職務 困難な業務を処理する係長の職務 困難な業務を処理する主査の職務 困難な業務を処理する主任の職務	21人	31.8%
5級	参事の職務 困難な業務を処理する課長補佐の職務 困難な業務を処理する主幹の職務 困難な業務を処理する副参事の職務	4人	6.1%
6級	課長の職務 困難な業務を処理する参事の職務	13人	19.7%

◆借入金および基金残高の推移



◆特別会計の決算状況

特別会計名	収入総額	支出総額	差引収支
国民健康保険事業特別会計	2億6,971万7千円	2億6,910万4千円	61万3千円
後期高齢者医療事業特別会計	3,974万3千円	3,973万5千円	8千円
介護保険特別会計	2億8,918万1千円	2億8,617万6千円	300万5千円
簡易水道事業特別会計	2億8,281万3千円	2億8,037万3千円	244万0千円
公共下水道事業特別会計	2億7,660万1千円	2億7,488万7千円	171万4千円
合計	11億5,805万5千円	11億5,027万5千円	778万0千円

令和2年度決算に基づく健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率は「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つからなり「資金不足比率」と合わせた5つの比率で、国が定めた基準と比較してまちの財政がどのような状態にあるのかが見ることができます。

これら5つの比率のうちいずれか1つでも「早期健全化基準」や「経営健全化基準」以上となった場合には、早期（経営）健全化団体となり自主的な改善努力が義務付けられます。

1 健全化判断比率

区分	比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	15.0%
連結実質赤字比率	-	20.0%
実質公債費比率	13.7%	25.0%
将来負担比率	16.4%	350.0%

※決算に赤字額がないため実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」で表されます

2 資金不足比率

特別会計名	比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	-	20.0%
公共下水道事業特別会計	-	20.0%

※決算に資金不足額がないため比率は「-」で表されます

このように、わが町の比率は、すべてが基準を下回っており危機的な財政状況にはなっていませんが、町税などの自主財源が乏しい状況にあることから、引き続き行財政改革による効率的な財政運営が求められています。

③ 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1)勤務時間の状況（令和2年4月1日現在・標準的なもの）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り			
	始業時刻	終業時刻	休憩時刻	週休日
38時間 45分	8時30分	17時15分	12時から 13時まで	土・日

(2)年次有給休暇の取得状況

総付与日数	総取得日数	対象職員数	平均使用日数
2,230日	470日	57人	8.3日

※1 取得日数は令和2年1月1日から12月31日までの間
 ※2 対象職員数は、一般職で途中退職、派遣は除く

④ 職員の分限及び懲戒処分状況

(1)分限処分者数（令和2年度）

処分事由	降任	免職	休職	計
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0
心身の故障のため職務の遂行に支障があり、又はこれに堪えない場合	0	0	1	1
その職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0
職制若しくは定数の改廃又は予算の減少により廃職又は過員を生じた場合	0	0	0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0

(2)懲戒処分者数（令和2年度）

処分事由	戒告	減給	停職	免職	計
法令等に違反した場合	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、又は職務を怠った場合	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	0	0	1	0	1

⑤ 職員の服務の状況

職員の職務専念義務の免除及び営利企業等の従事制限の状況（令和2年度）

区分	延べ人数
職務専念義務免除の人数	1人
営利企業等の従事許可の人数	0人

⑥ 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1)職員研修の状況（令和2年度）

区分	参加人数
北海道市町村職員研修センター	2人
上川町村会	14人
北海道町村会	2人
北海道（上川総合振興局）	4人
職場研修会	35人

(2)勤務評定制度の概要

地方公務員法に基づき、職員の執務について定期的に勤務成績の評定を行い、その評定結果に応じた措置を講じている。

(2)健康診断の状況（令和2年度）

健康診断の種類	対象者数	受診者数
定期健康診断	80人	79人

(3)公務災害の認定件数の状況（令和2年度）

区分	件数
公務災害	0件
通勤災害	0件

⑦ 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1)職員福利厚生互助会の状況（令和2年度）

名称	町独自【一融会】	共同【北海道市町村職員福祉協会】
一人あたりの公費負担額（事務費含）	0円	3,802円
主な事業	・町内クリーン作戦 ・リフレッシュ事業等	・脳ドック助成 ・保養施設利用助成等

北海道市町村職員福祉協会の詳しい事業内容については、同協会ホームページをご覧ください。http://www.hokkaido-ctvfukusikyokai.jp/

⑧ 公平委員会に係る業務の状況

(1)勤務条件に関する措置の要求の状況（令和2年度）

措置要求件数	措置要求の概要
無	—

(2)不利益処分に関する不服

不服申立件数	不服申立の概要
無	—

(7)職員の手当の状況

区分	南富良野町		国		
	(令和2年度支給割合)		(令和2年度支給割合)		
期末手当 勤勉手当	支給月	期末手当 0.950月分	期末手当 0.950月分	勤勉手当 0.950月分	
	6月期	1.300月分	1.300月分	0.950月分	
	12月期	1.250月分	1.250月分	0.950月分	
	計	2.55月分	1.90月分	2.55月分 1.90月分	
退職手当	加算措置	職制上の段階、職務の級等による加算措置あり		職制上の段階、職務の級等による加算措置あり	
	(支給率)		(支給率)		
	勤続年数	自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分	19.6695月分	24.586875月分
	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分	28.0395月分	33.27075月分
	勤続35年	39.7575月分	47.709月分	39.7575月分	47.709月分
最高限度額	47.709月分	47.709月分	47.709月分	47.709月分	
加算措置	その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置 (3%~45%加算)		その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置 (3%~45%加算)		

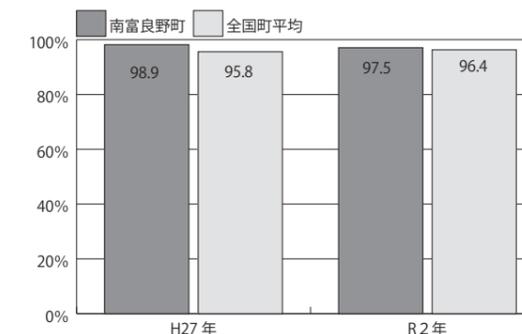
区分	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
扶養手当	配偶者：6,500円 父母：6,500円 子：10,000円 満16歳から満22歳の年度末までの間にある子1人につき5,000円加算	同	
住居手当	住宅所有者：7,000円 借家・借間に居住し月額16,000円を超える家賃を支払っている職員（限度額28,000円）	異	住宅所有者の支給額
通勤手当	交通機関利用者運賃等相当額（限度額55,000円） 自動車等使用者通勤距離に応じて（2km以上）2,000円~31,600円	同	
管理職手当	課長職：40,000円 課長補佐、主幹職：30,000円 参事職：17,000円 副参事職：13,000円	異	役職により定額
寒冷地手当	基準日に在職する職員に一括支給 ・扶養親族のある世帯主：131,900円 ・扶養親族のない世帯主：72,900円 ・その他：51,700円	異	支給方法

元年度	支給実績	10,851千円
	職員1人当たり平均支給年額	139千円
2年度	支給実績	11,244千円
	職員1人当たり平均支給年額	156千円

(8)特別職の報酬等の状況（令和2年12月1日現在）

区分	給料月額	期末手当
町長	710,000円	4.45月分
副町長	590,000円	
教育長	540,000円	
区分	報酬月額	期末手当
議長	240,000円	4.45月分
副議長	191,000円	
議員	161,000円	

(9)ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

中学校・高等学校で「1日防災学校」 各小学校で防災教育を実施

8月31日「南富良野町防災の日」に、平成28年8月に経験した豪雨被害を心に刻み、しっかりと未来に引き継ぐため、南富良野中学校と南富良野高等学校で「1日防災学校」が行われ、防災の日の前後では各小学校で防災教育が行われました。

「南富良野小学校」

9月7日、南富良野小学校では、町防災マネージャーを招き防災教育が行われました。授業は低、中、高学年に分かれ、1・2年生は、全国で発生した災害や地震、風水害の事例の説明、3・4年生は、地震発生時の具体的な行動や備えについて学ぶ授業、5・6年生は、コロナ禍での避難所生活や避難所について調べ、避難所での児童の役割について考える授業が行われました。また、8月31日の防災の日には、児童が命を守るための正しい退避行動を身に付けるために避難訓練が実施されました。



防災教育授業の様子



避難訓練の様子

「南富良野西小学校」

8月27日、南富良野西小学校では、水に流された時の身の守り方を学ぶ防災教育が行われました。町防災マネージャーの講話では、地域を流れる空知川やかんがい用水路の流れている場所を確認することから行われ、かんがい用水路は季節により水の深さや流れの速さが変わること、水が深く流れが速くなると歩けなくなり、流される恐れもあることを学んでいました。その後、児童は実際にプールに入り着衣水泳が行われ、水に流された時の身の守り方を学んでいました。また、8月31日の防災の日には、児童が命を守るための正しい退避行動を身に付けるために避難訓練が実施されました。



講話の様子



着衣水泳の様子

「南富良野中学校」

8月31日、南富良野中学校では、本年度で3回目となる「1日防災学校」が行われました。

「1日防災学校」では、町防災マネージャーから、町の防災施設や災害になった場合の防災体制の説明や昨年度まで行ってきた防災訓練をもとに、避難所生活において自分達ができることの講話を受けました。その後、各学年に分かれ、1年生は避難所の段ボールベッドの組み立てや避難所用テントの設営、2年生は中学校が避難所になった場合を想定し、グループごとに校内を回り、設備や環境を考察、3年生はソーシャルディスタンスを考えた避難所運営についてと題し、グループワークが行われました。

生徒は、講話や訓練を通じて、災害時における自助、共助、公助について学び、中学生だからできる自分達の役割について考えていました。

また、昼食では災害時の断水を想定し、陸上自衛隊の協力のもと、給水車から水を汲み、1年生は家庭科室、2年生は理科室、3年生は野外でそれぞれお湯を沸かし、非常食及び災害備蓄用パンを試食しました。

「南富良野高等学校」

8月31日、南富良野高等学校では、「災害時に高校生ができること、やらねばならないこと」をキーワードに初の「1日防災学校」が実施されました。

道内の高等学校でも防災学校としての取り組みは少なく、自らが支援する側に視点を置き、陸上自衛隊や近隣の住民の方の協力により、炊き出しや配食など行われました。

炊き出しでは、災害時の断水を想定し備蓄水を使用し、調理室と被服室で各班に分かれ、生徒自ら具材の調理や炊飯を行い、180人分の豚汁とおにぎりが用意されました。

完成した炊き出しは、配食担当の生徒が不織布ガウンやフェイスシールドを着用して、西町3階建公営住宅の高齢者宅を訪問し一軒一軒手渡しされたほか、学校近隣の千木町と朝日町の住民の方には、アクリル板などの感染対策を行った体育館で食事が提供されました。

また、午後からの防災講話では、町防災マネージャーから、防災の基礎や情報の活用で自ら身を守る方法や、高校生の体力や思考力、行動力は、災害時に強い力になることを学んでいました。



避難所用テント設営の様子



自衛隊給水車から水を汲む様子



炊き出し調理の様子



体育館での配食の様子

令和3年度農作物作況調査実施

町内の農作物生育状況



9月1日に町農業委員会（小林彦一会長）による令和3年度農作物作況調査が行われ、町内の農作物の生育状況などを視察しました。

この作況調査は、例年この時期に実施され、調査には町やJAふらの、上川農業改良普及センターも同行、下金山地区から北落合地区まで町内の主要作物が栽培されている圃場を巡回し、播種時の状況や生育状況などを各地区の農業委員から聞き取りながら、実際に作物を手に取り生育状況や品質などを確認しました。

本年は、春先のまき付けは概ね順調に進みましたが、6月中旬から8月にかけて、記録的な高温による干ばつが断続的に続く、極めて特異な気象状況で、水稲や小麦は「やや良」でありましたが、多くの作物は干ばつの影響を受け「かなり不良」から「かなり不良」となり、特にそばは「はなはだしい不良」となる厳しい生育状況でした。本年の主要作物の作況指数は左表のとおりです。

○主要作物の作況指数

作物名	作況指数	評価
水稲	105%	やや良
馬鈴薯	95%	かなり不良
にんじん	80%	かなり不良
小麦	103%	やや良
大麦	70%	かなり不良
たまねぎ	70%	かなり不良
スイートコーン	70%	かなり不良
そば	50%	はなはだしい不良
てんさい	80%	かなり不良

令和3年度第2回自治会代表者会議



8月25日（水）、町は令和3年度第2回自治会代表者会議を地区自治会代表者及び自治会代表者24名が出席し、保健福祉センターみなくるで開催しました。

この会議は、毎年5月頃に自治会と行政が互いに連携を図るため開催し、本年は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令により、書面での会議を行っていましたが、本年7月に「根室本線対策協議会」の総会で、JR富良野く新得間について、バス転換についても検討を進めていくことが決定されたことや、現在進めている道の駅再編整備事業の進捗状況、新型コロナウイルスワクチンの接種状況など、重要案件について自治会の方々に説明する必要があり、本年度2回目の同会議を開

催しました。

会議冒頭の挨拶で、池部町長はJR富良野く新得間存廃問題について「鉄路を存続させるべきだと思いますが、存続に必要とされる費用について、国や北海道からの支援がない中において、JR北海道から根室本線の関係自治体に求められている負担額も多額となり、極めて厳しい状況であります。いずれにしましても町民の皆さまの総意により進む道を選択します」と述べていました。

会議では、これまで根室本線の災害復旧と路線維持に向けた活動の経過報告、JR富良野く新得間の鉄道維持継続させる場合、鉄道収入の不足分となる必要年額約10億9千万円を根室本線の関係自治体で負担しなければならぬ話のほか、道の駅再編整備事業や新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況など町からの説明を受け、出席者からは「今後の町内の交通体系が、交通弱者である高齢者や、子どもたちに配慮したものになってほしい」、「車両に自転車に乗せるなど、観光客のJR利用者の増加を図って見てはどうか」などの意見があげられました。

今後、JR富良野く新得間存廃問題については、当区間に直接関係のある本町と富良野市、占冠村、新得町の4市町村に国と北海道を加え、JR北海道と、バス転換など新たな交通体系についても、検討を進めていくこととなります。

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

カメラレポート

CAMERA REPORT

夏の交通安全街頭指導

（8月17日～8月19日）

南富良野小学校の2学期が始まる登校日から3日間、児童の登校時間に学校運営協議会、南富小見守り隊（幾寅地区連合町内会・幾寅老人クラブ）、幾寅駐在所、町交通安全協会、町交通指導員協議会の皆さんが、交差点などに立ち児童へ交通安全の街頭指導が行われました。

児童は、多くの方々に見守られ、2学期も元気に登校をしていました。



JR体験乗車

（9月6日）

南富良野小学校の1～4年生17名は、引率の教員とともに、下金山駅から山部駅までの区間でJR体験乗車を行いました。

児童は、コロナ禍における乗車マナーや下車時の運賃の支払い方など、地域を支える公共交通について学びました。

なお、利用運賃については、根室本線対策協議会より全額助成を受けています。



北海道市町村選挙管理委員会連合会表彰受賞

鈴木政春氏

選挙管理委員会委員長として活躍されています鈴木政春氏（下金山）が北海道市町村選挙管理委員会連合会表彰を受賞されました。

鈴木氏は、平成27年9月に選挙管理委員会委員として就任し、同年10月から現在に至るまで同委員会委員長の重職を務められています。

この度、永きに渡り選挙管理委員会委員長として、優れた人格と卓越した識見により、適正な選挙の管理執行と公正な選挙の啓発に尽力された功績により表彰されたものがあります。



教育委員会通信

防災学習を実施しました ～千里大学編～

南富良野町防災の日（8月31日）を前に、8月26日（木）の千里大学授業において、防災安全推進室 林 防災マネージャーを講師としてお招きし、防災学習～フィールドワーク～を実施しました。平成28年の水害から5年が経過しましたが、この5年の間に町の安全を守るために整備された空知川の堤防や護岸の状況、新たに設置された水位計や監視カメラ等について説明いただきました。幾寅から落合まで空知川沿いにバスを走らせ、参加した学生同士、当時の水害時の体験談を話しながら、災害の恐ろしさや事前に備えておくべきこと等を確認し、改めて命を守る行動について学ぶ機会となりました。



堤防での説明



設置された監視カメラ

また、午後からのクラブ活動では、防災クラブで避難所運営ゲーム（Doはぐ）に取り組みました。避難所運営ゲーム（Doはぐ）は、真冬の直下型地震が発生しガス等が使えないという想定に沿って、250枚のカードで示されたさまざまな条件を、グループで話し合って解決していく「防災教育カードゲーム」です。

避難所生活や避難所運営を自分事としてとらえ、地域の防災対策について考える機会となりました。



南富高新聞

第53号
発行
南富良野高等学校

町に学び、町に生きる

8月31日の南富良野町防災の日に合わせて、「1日防災学校」を実施しました。午前中に給水支援を受け、その水を使って豚汁とおにぎりを調理し、近隣の町民の方々や町職員の方々に召し上がっていただきました。午後には、災害の種類や災害時の高校生への役割についての講演を、さらに避難所の運営を仮定したシミュレーション体験を指導していただきました。本町が被災して5年が経過した現在でも、突然やってくる災害への備えの意識を高めることができ



避難所ゲーム (Doはぐ) を行う生徒



消防署で放水体験をする生徒 (右)

ました。

9月4日には、土曜授業を利用して、8月末に行われた職場体験（インターンシップ）の報告会を行いました。2年生が体験の様子をまとめたスライドを用いて説明を行い、来年度経験する1年生、2年生の保護者の方々に受け入れていただいた中学校の先生などが参観しました。

2つの体験を通じて、学校だけでは学ぶことができないこと（防災の意識・勤労の大変さ・責任感・コミュニケーションの大切さなど）、町の方々の協力で学べることに改めて感謝し、今後は高校生も町のために何か貢献する気持ちを持つことができました。

南富良野高等学校

シリーズ学校だより(223) 各学校の取り組みを紹介します。



生徒による説明風景

学校の魅力を最大限に発信し、生徒募集の取り組み。現在、本校は全校生徒28名で活動していますが、1年生の男子3名は全員が力強い一部に所属しています。8月には全国大会へと出場していますが、日常の授業では、やはり3人では少し寂しいと思っています。それでも、いつも未来を見据えて勉強や部活に取り組んでいます。

来年度の1年生は、もう少し人数が増えて欲しいという思いから、今年は多様な生徒募集の活動を行っています。例年7月に行っている地元南富良野中学校への学校説明会を5月に実施、7月初旬には富良野圏域と新得町の中学校を訪問し、学校案内を配布、さらには、札幌市・旭川市内の中学校へも同様に学校案内のほか、アウトドア活動や下宿を紹介するチラシを届けに訪問しました。また、学校ホームページに



理科の体験授業

は、ラフティングなどのアウトドア活動の授業風景を載せ、紹介しています。その甲斐あってか、8月20日に行われた「学校見学会」には、昨年度の2倍近い中学生や保護者の方々に参加していただきました。今年の説明会で最も力を入れたのは、在校生が学校の魅力を伝えるために、様々な場面で活躍したことです。

体験授業では、先生の助手役になったり、部活動紹介では、中学生に分かりやすい説明をするなど、自分たちが通う学校がいかに素晴らしいかを伝えるために頑張っていました。

「小さな学校だからこそ、できることを」のモットーで進んでいる本校の活動は、来年度以降、入学する生徒の皆さんと、現在の在校生全員で成り立っています。ぜひ本校で学び、将来の可能性を最大限に伸ばしてみませんか。

子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

☎52-2315
☎090-5985-4339

子育て支援センター

暑い夏も終わり、秋が少しずつ深まってきました。外に出る機会も少しずつ減ってきましたが、暖かい日にはお散歩に出かけませんか？色づく木々や葉っぱを見つけたり、やわらかな陽ざしに秋を感じてみましょう！



☆0歳・1歳ぷっこ

連日の暑さに水あそびは最高！「生まれて初めての水遊び」というおともだちもいました。



☆ぷっこクラブ（鳥羽農園）

鈴なりの真っ赤なトマト。暑さで子どもたちのほっぺも真っ赤！たくさんのおいしいトマトを収穫させてもらいました。



☆ぷっこクラブ（盆踊り会）

かわいいゆかた姿で保育所の盆踊り会に参加しました。にっこり笑顔でハイチーズ



☆ヨガ（育児講演会）

ゆっくり呼吸をしながら、体と心をほぐしてリラックス。自分の体と対話することが大事です。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

8月24日に、盆踊り会を行いました。子どもたちは浴衣や甚平に身を包み、事前に行ったチケットを嬉しそうに首からぶら下げて、縁日ごっこを楽しんでいました。買ったお面やヨーヨーをニコニコしながら友達や保育士に見せたり、かき氷やからあげなど美味しそうに食べたり、嬉しそうでした。



金山保育所

8月4日(水)に金山高台地区にある小果樹園まで遠足に行ってきました。子どもたちは「すっぱ～い！！」と言いながらも、ブルーベリーやカリンズなど色とりどりの果実を食べ比べするなどの体験をして、とても喜んでいました！

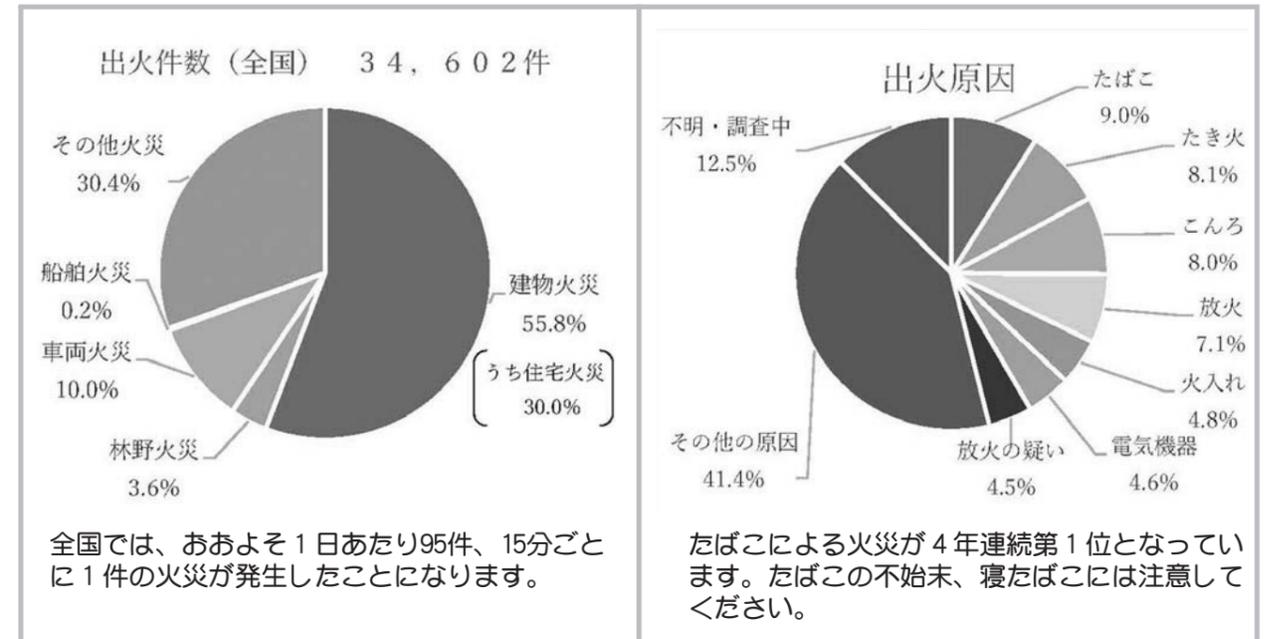


しょうぼう広報 ほのお

富良野消防署南富良野支署
☎52-2119 FAX52-2979
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp
災害案内 ☎52-3119

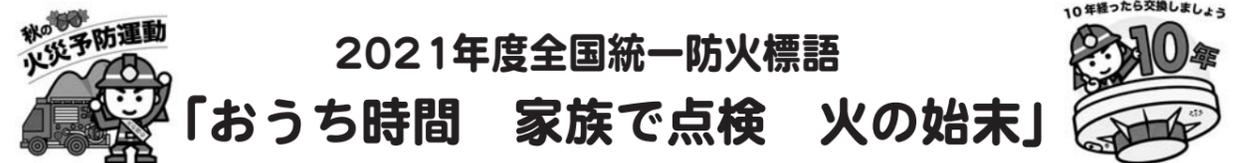
秋の火災予防運動が始まります

10月15日から31日までの期間、秋の火災予防運動が行われます。秋から冬にかけては、暖房器具の使用等により火災が多く発生する時期です。火気の取扱いには十分注意をしましょう。南富良野支署では、10月15日に防火パレードのほか各施設の立入検査や模擬火災訓練、消火栓及び防火水槽の点検を実施する予定です。今回は、令和2年中に全国で発生した火災の種別及び出火原因についてご紹介します。



※総務省消防庁「令和2年（1月～12月）における火災の概要（概数）について」

日頃から火災予防には十分注意されていると思いますが、この火災予防運動を機に、より一層の防火意識の向上に努めてくださいますようお願いいたします。



男性・女性消防団員募集

消防団に関することは消防係まで

南富良野支署出動件数（令和3年1月1日～8月31日）

- 救急出動 56件（うちドクターヘリ要請件数 7件）
- 火災出動 3件（うち他市町村応援出動 2件）
- 救助出動 2件

道の駅「南ふらの」へ小型発電機が寄贈

一般社団法人 日本道路建設業協会北海道支部（横平聡 支部長）から、道の駅「南ふらの」へ小型発電機の寄贈がありました。

当協会（西田義則 会長）では、一般社団法人 全国道の駅連絡会（石井 裕会長）、国土交通省と連携し、地域防災計画に位置付けられている全国の道の駅の発電機保有率100%を目指し、小型発電機を寄贈する事業を行っており、今回、本町の道の駅へ小型発電機が贈られました。



寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会へ

○幾 寅 高橋ミチ子様より故高橋すみ子様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

○金 山 清水美智生様より社会福祉協議会の運営に対する寄附として 五万円

一味園・からまつ園・こさくら園・ふくしあへ

- 幾 寅 株吉岡建設 様
- 幾 寅 五十嵐 柳子 様
- 幾 寅 上原 繁雄 様
- 幾 寅 高橋 しのぶ 様
- 幾 寅 森井 みさ子 様
- 幾 寅 吉田 千春 様
- 金 山 高松 光子 様
- 下金山 及川 智 様
- 下金山 永井 博 様
- 占冠村 坂東 寿美子 様

- 富良野市 河井 和子 様
- 富良野市 河井 幸江 様
- 富良野市 北澤 誠 様
- 富良野市 後藤 宗男 様
- 富良野市 佐々木 みゆき 様
- 富良野市 白澤 英二 様
- 富良野市 松本 好子 様
- 富良野市 山下 祐二 様
- 中富良野市 新田 薫 様
- 旭川市 大丸ケアサービス 様
- 旭川市 小薔 優子 様
- 旭川市 前川原 紀子 様
- 滝川市 御家瀬 一成 様
- 稚津川町 (伊アステニューポレシヨン) 様
- 砂川市 加藤 英司 様
- 芽室町 辻 経之 様
- 帯広市 加藤 武夫 様
- 帯広市 砂原 健二 様
- 更別村 阿部 俊夫 様
- 士幌町 神野 光男 様
- 釧路市 須田 勝則 様
- 釧路市 平野 満昌 様
- 札幌市 経専北海道保育専門学校 様
- 札幌市 北 富士夫 様

- 札幌市 内田 美江 様
- 東京都 加藤 哲典 様

★お悔やみ申し上げます

幾 寅 加藤 孝(85)
令和3年8月24日逝去

幾 寅 松本 梅子(91)
令和3年8月31日逝去

南わたしたちのまち

(令和3年8月末日現在)
人口 2,365人(1)
男 1,202人(Δ1)
女 1,163人(2)
世帯数 1,330戸(3)
()内は前月比